

2023年度調査研究計画				
●日本損害保険協会 自賠責運用益抛出 助成研究				
		研究テーマ	研究者 所属	
2023年度 から3年継続	1	体調起因性事故予防に向けた効果的なドライバーモニタリング及び運転支援技術の検討	一杉 正仁	滋賀医科大学医学部
			三宅 康史	帝京大学医学部救急医学講座
			伊藤 大輔	関西大学安全社会学部
			國行 浩史	公立諏訪東京理科大学工学部
			馬場美年子	慶應義塾大学医学部
			松田 礼	日本大学理工学部 精密機械工学科
●日本自動車工業会 委託研究				
		研究テーマ	研究者(代表者) 所属	
継続	1	低出生体重児にとっての適切なチャイルドシートの検討	川戸 仁	はぐぐみBaby&Kid'sクリニック
	2	車椅子乗車車両による死亡事故例の検証と予防対策の提案	桑原 歩夢	滋賀医科大学社会医学講座
新規	1	滋賀県内の総在留外国妊婦の自動車乗車状況とシートベルト着用の実態調査	花原 恭子	聖泉大学看護学部看護学科
	2	自動車事故による重症損傷予防に向けた、関連因子の検討	石井 亘	京都第二赤十字病院 救命救急センター
	3	新規モビリティに対する被害軽減ブレーキの特性	戸田 均	三重県警察本部科学捜査研究所・技官
	4	妊婦の自動車運転状況と胎児心拍数モニタリングに関する研究	立岡弓子	滋賀医科大学臨床看護学講座
依頼	1	剖検例に基づく体調起因性事故の実態調査	一杉 正仁	滋賀医科大学社会医学講座
			大澤資樹	東海大学医学部
			池谷 博	京都府立医科大学
			佐藤貴子	大阪医科薬科大学